

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公表番号】特表2019-528074(P2019-528074A)

【公表日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-041

【出願番号】特願2019-510850(P2019-510850)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 0 7 K 16/22 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/13

C 0 7 K 16/22 Z N A

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月19日(2020.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

重鎖相補性決定領域1～3(HCDR1、HCDR2及びHCDR3)並びに軽鎖相補性決定領域1～3(LCDR1、LCDR2及びLCDR3)を含む抗体であって、HCDR1、HCDR2及びHCDR3並びにLCDR1、LCDR2及びLCDR3が各々、配列番号79～84を含む、前記抗体。

## 【請求項 2】

配列番号73及び77を各々含む重鎖及び軽鎖を含む、請求項1記載の抗体。

## 【請求項 3】

重鎖アミノ酸配列が配列番号71を含み、且つ軽鎖アミノ酸配列が配列番号75を含む、請求項1記載の抗体。

## 【請求項 4】

モノクローナル抗体である、請求項1記載の抗体。

## 【請求項 5】

請求項1記載の抗体をコードするポリヌクレオチドを含む核酸。

## 【請求項 6】

請求項5記載のヌクレオチド配列を含むベクター。

## 【請求項 7】

請求項6記載のベクターを含む細胞。

## 【請求項 8】

請求項1記載の抗体を作製する方法であって、請求項6記載のベクターを含む細胞を培養するステップを含む、前記方法。

## 【請求項 9】

請求項1記載の抗体の有効量を含む、それを必要とする対象における血管新生の低減において使用するための組成物。

## 【手続補正 2】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0118

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0118】

均等物

前述の明細書文書は、当業者が実施形態を実行することを可能にするのに十分であると考えられている。しかし、上文がテキストでいかに詳細に述べられていても、実施形態が多くの方法で実行されてもよく、特許請求の範囲がその任意の均等物を含むことは理解されるべきである。

以下、本発明の実施形態を示す。

(1) 重鎖相補性決定領域1～3(HCDR1、HCDR2、およびHCDR3)および軽鎖相補性決定領域1～3(LCDR1、LCDR2、およびLCDR3)を含む抗体であって、ここでHCDR1、HCDR2、およびHCDR3、ならびにLCDR1、LCDR2、およびLCDR3が各々、配列番号79～84を含む、抗体。

(2) 配列番号73および77を各々含む重鎖および軽鎖を含む、(1)に記載の抗体。

(3) 前記重鎖アミノ酸配列が配列番号71を含み、かつ前記軽鎖アミノ酸配列が配列番号75を含む、(1)に記載の抗体。

(4) モノクローナル抗体である、(1)に記載の抗体。

(5) (1)に記載の抗体をコードするポリヌクレオチドを含む核酸配列。

(6) (5)に記載のヌクレオチド配列を含むベクター。

(7) (6)に記載のベクターを含む細胞。

(8) (1)に記載の抗体を作製する方法であって、(6)に記載のベクターを含む細胞を培養するステップを含む、方法。

( 9 ) 血管新生を低減する方法であって、( 1 ) に記載の抗体を対象に提供するステップを含む、方法。